

平成 29 年 10 月 1 日

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人南京都学園 京都動物専門学校 学校関係者評価委員会は、「平成 28 年度 自己点検・評価報告書」に基づき、平成 29 年度の学校関係者評価を実施し、以下にこれを報告いたします。

開催日時

平成 29 年 9 月 11 日（月）14：00～15：30

出席者 委員長以下 13 名

評価項目と学校関係者評価・意見

評価項目	評価・意見	対応等
1 教育理念・目標	建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した人材の育成に努力している。在校生や保護者のみならず広く教育理念等を伝える必要がある。	校内の指定場所に教育理念や目標を掲示する。また、在校生の保護者や関連業界、一般の方に対しホームページ等での情報を公開する。 「建学の精神」の具現化に取り組む。単に職業教育を行うのではなく、「建学の精神」に基づいた教育を行い、徳・体・知の調和がとれた人格の形成を図り、社会に貢献できる人材を養成する学校創りを行う。
2 学校運営	運営に関しては、事業計画等によって、明確化・組織化がなされており、運営上特に問題はない。 専門職業大学への対応はどのようにしておられるのか。	全教職員へ運営方針及び事業計画等の周知徹底を図る。 防犯及び災害等の非常時に対応できる施設管理・安全管理を行う。 専門職短期大学については、今後さまざまな条件や動向を考慮して、判断する。

<p>3 教育活動</p> <p>[カリキュラム・成績の評価]</p> <p>[授業の評価]</p> <p>[学校行事]</p> <p>[教員の指導力向上]</p>	<p>人としての「人間教育」と専門職としての「技術知識の教授」を行うためには、カリキュラム編成・学校行事の見直し・教員研修実施など、常に生徒が社会人として活躍できるには何が重要かを考えなければならない。</p>	<p>学園の教育理念を基盤とした教育をシステム化し、実施するよう努める。授業・担任評価の結果を教育活動に活かす必要がある。教員研修での指導力の向上や工夫ある授業・行事を行い、生徒にフィードバックできるように心掛ける。</p>
<p>4 学修成果</p>	<p>就職率は目標の95%を達成することが出来なかった。</p> <p>資格に関しては、自校トリマーライセンス・認定動物看護師を受験者全員が取得することが出来た。</p> <p>退学者数は前年度より減少した。</p>	<p>生徒の特性を見極め、進路先の条件も考慮し、個々に合った進路指導を行い、就職率100%を目標とする。</p> <p>資格取得に関して、試験対策等を行い合格率の向上に努める。</p> <p>担任を中心に教務・進路・入試・事務との連携を強め、情報の共有を図る。</p>
<p>5 生徒支援</p>	<p>学園及び学外奨学金制度は設定している。また、生徒に対する定期的健康診断も年度初めに実施している。</p> <p>一人暮らしの生徒への生活環境に対して、安心して学校生活を送れるようマンション幹旋等、専門業者を通じて支援している。</p>	<p>学園奨学金「学園ファミリー奨学金制度、新入生及び在校生対象特待制度」を引き続き実施する。学外奨学金「日本学生支援機構奨学金」も引き続き利用できるよう設定するが、生徒への奨学金の知識・理解を高めるよう説明会等を継続して行うよう努める。</p>
<p>6 教育環境</p>	<p>施設・設備も適法であり、防災・防犯の意識も高く適切に管理されている。ただ、空調設備の経年による問題がある。</p> <p>インターンシップや海外研修の場は設定されている。</p>	<p>生徒にとって、より安全で、魅力ある教育環境となるよう努力する。</p> <p>空調設備に関しては、入れ替えを検討している。</p>
<p>7 生徒の受入れ募集</p>	<p>専修学校の規定や学則に則り、適切に生徒募集が行われている。</p>	<p>適切な学校情報の公開に努める。学校が求める生徒像と志願者が求める学校像が合致するよう常に心がけている。また、志願者が必要とする情報の提供に努めている。</p>

8 財務	経費節減等に努力されている。	外部監査による健全な学校運営を維持するとともに、経費節減に努める。
9 法令等の遵守	適正に運営されている。	教育関連法規、その他の法令を遵守し、適正に運営している。
10 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献については、有効に実施されているが、もう少し手を加える必要がある。	地域に親しまれる学校行事やイベントを強化する。「徳・体・智」の調和のとれた人格の形成を図り、国家・社会に貢献できる人間の育成を目指す。

以上